

今井胡桃

スノーボードハーフパイプ
Kurumi Imai

スノーボードも大学もひと倍の苦勞が必ず自分を高めてくれる

アスリートインタビューに登場するのは、スノーボードハーフパイプの今井胡桃選手です。5歳で競技を始め、小学5年の時に史上最年少でプロ資格を取得し、2018年の冬季オリンピック韓国・平昌大会では女子日本代表に選出されるなど、活躍を続ける今井選手。平昌大会後の春からは松本大学に進学し、競技とともに学業にも励む今井選手に、スノーボードとの出会い、アスリートとしての想い、大学生活と今後についてお話をうかがいました。

取材構成 菅理俊哉 写真 菅理俊哉 編集 菅理俊哉 プロ 試合 協力 松本大学

家族、生活とともに身近にあったスノーボード

私がスノーボードに出会ったのは保育園の頃で、物心がついたら、もうボードをつけて滑っていました。私には上から兄、姉、二人の兄がいて、一番上の兄以外は皆スノーボードをするので、その影響もあって始めました。でも「やらされている」感じはありません。小学校まではスノーボードと合わせて兄妹で剣道もしており、今もそうですが、スポーツが身近にあって、生活に溶け込んでいる感じでした。スノーボードを始めて小学生の頃までは、とにかくプロの資格を取る事が目標でした。小学校4年のときにユースの全国大会全部に勝って、小学校5年で全日本スノーボード選手権一般の部で優勝して、プロの資格が取れたときはうれしかったです。当時の最年少で、目標にしていたプロにやっとなれた！という達成感がありました。当時は、練習で山に行っていたら、下で待っている父がアドバイスをしてくれました。



努力をしただけ報われる」と考えていたのですが、それだけじゃないと感じましたし、あらためて自分を見つめ直す機会にもなりました。

2018年、平昌（韓国）で日本代表として初めてオリンピックに出場しました。せめてベストパフォーマンスをしてみたいと思っていました。予選を通過できなくて結果も内容も満足いくものではありませんでした。終わってしまったものを振り返ってもしかなかったのですが、後悔しが残って

大学の授業を競技に活かし、スノーボードの魅力伝えたい

高校卒業後は次のオリンピックを目指して、プロとして競技に専念しようと思っていたのですが、そもそもは大学進学を考えていません。そんな思いで日本に帰ってきたら、ちょうど高校の卒業式で、想像していた以上に学校みんなが大勢集まってきてくれて驚いたのと同時にうれしかったです。オリンピック、スポーツの力つてすごいんだなって実感しました。大学の授業を競技に活かし、スノーボードの魅力伝えたい。高校卒業後は次のオリンピックを目指して、プロとして競技に専念しようと思っていたのですが、そもそもは大学進学を考えていませんでした。でも、周りの方々からアドバイスをいただいて、大学で学ぶことで自分の幅ができて、選択肢が増えるだろうし、それに競技にも活かせるようなことも学べるだろうからという思い、松本大学に進学しました。

それにスノーボードは低年齢化が進んでいて、30歳代で活躍している選手は海外でもわずか。日本でもティーン（10代）の選手が上位にくるのは当たり前で、20歳代前半でも辞めることを考えてしまうようなところがあるんです。競技者として活躍できる時間が短いし、それがどんどん加速もしている。その後を考えると、大学進学は大きいと思ひ直しました。

松本大学を選んだのは、約1時間かかりますが、実家から通えることもあり、アスリートを対象とした入試制度が設けられていたことも理由のひとつです。

ただ、競技を続けながらなので、どうしても大学に通う機会に限られます。それでも学べることで、卒業を目指してがんばろうと思ひます。大学に通うようになって、もっと勉強したい、できることなら小学校からもう一度もって勉強してみたいなとも感じています。

大学進学をどうしようかと考えている高校生のみなさんに伝えたいことは、「やりたいことがないから大学には行かない」より「やりたいことがなくてもまず行ってみよう」で構わないという事です。通ってみると、授業に思っでもみなった気が大きかったりと、得られたものは大きいと思うので大学進学を勧めたいですね。

高校卒業の時初めてのオリンピックで、次の冬季オリンピック2022年北京大会が順

た。家にもトレーニング用のトレーニングランボルンが用意されていて、練習環境をよく考えてくれていました。食事の面は母にまかせたり。今もですが、お昼はお弁当を作ってもらって、練習試合、そして学校という生活が小学時代から続いています。スノーボードは冬のスポーツですが、夏の間もトレーニングをしますし、日本が夏になれば、季節が反対の南半球のニュージーランドに出かけて、滑りにも行きますから、1年中、スノーボードをしているんです。そうした遠征の前は、兄妹に激励してもらって出かれます。両親、家族に支えられているなと思ひますし、感謝の思いが強いですね。

ケガからの復帰で感じた支え合う心の大切さ

ハーフパイプ競技は、趣味レベルなら安全に楽しめますが、世界のトップを勝ち取るためには、空中10mくらいの高さで回転したり、捻りを加えたりと、難易度の高い技術に挑むので、命がけです。脳震盪も経験しましたが、跳ぶことや宙に浮くことへの怖さはそんなにありません。ただ以前、試合中に強風で煽られて落ちて大ケガをしたので、2016年に右眼窩底骨折、風、突風は気になります。スノーボードの選手は、イヤホンで音楽を聞きながら試合に出ている選手が多いのですが、私は試合中にはイヤホンで音楽は聞きません。風が気になるので、スノーボードという競技は、キャリアや年齢を重ねることに、恐怖心が高まっていく競技でもあるんです。でも、いざスタートすると、そうした緊張や怖さがどこかに消し飛んでしまふ。そうした勇気を持つる限り、私はスノーボードという競技の頂点を目指します。ウインタースポーツ、スノーボードは夏の

調に行けば大学卒業のタイミングです。この4年間でいろいろなことを身につけた自分、さらなる高みを目指したい。ひと倍苦勞したら、それは必ず自分を高めることができると思ひますからね。

スノーボードという競技は、キャリアや年齢を重ねることに、恐怖心が高まっていく競技でもあるんです。でも、いざスタートすると、そうした緊張や怖さがどこかに消し飛んでしまふ。そうした勇気を持つる限り、私はスノーボードという競技の頂点を目指します。ウインタースポーツ、スノーボードは夏の

もありませんが、その試合会場の雲田気、自然を感じたいのと、そのほうが自分の調子がわかるというのもあるんです。ボードが雪を削る音、風の音、会場の音楽や歓声を感じながら競技するほうが私には合っていると思ひます。

大きなケガをして、跳ぶことが怖くはなりませんでしたが、カムバックして初の国際大会を迎えたときには緊張しました。そんなときに、ほかの選手から声をかけられたのは驚いたし、励みにもなりました。試合に出ている選手は仲がよくてもライバルという意識があるので、声をかけられるとは思っていませんでした。でも、みんなも危険と隣り合わせで競い合っているから同志みたいな存在なんだって実感しました。

国際大会で、日本代表に選ばれて、うれしかったのと同時に、引き締まる思いもありました。日本のチームは、海外の他の代表に比べてもチームワークがよいほうだと思ひます。日本チームは、スタート地点に集まって「がんばれ！」の声で競技に臨むのですが、そういうシーンって日本チームだけだと思います。背中を押してくれる、支えあっているっていう一体感を感じます。

スノーボードは個人種目なので、自分のベストパフォーマンスと向き合い続ける孤独な競技です。でも、だからこそ、誰かに支えられるとそのありがたみを感じられます。日本代表に入

競技に比べて、どこでも気軽に親しめる競技ではないかもしれませんが、でも、その迫力や華麗さをもっと多くの人に感じてほしくて、私はスノーボードとその魅力を伝えていきたいと思ひます。

PROFILE
今井胡桃（いまい くるみ）1999年9月24日、長野県上田市生まれ。148cm、50kg。松本大学人間健康学部スポーツ健康学科在籍。プロIHockey部所属。プロスノーボード。父と兄の影響で、スノーボードを5歳始める。小学5年で第2回全日本スノーボード選手権一般の部で初優勝によりプロ資格を取得。中学2年で全日本スキー選手権（女子スノーボード部門）を史上最年少で優勝。2017年、冬季アジア大会で銅メダル獲得。2018年、平昌オリンピックハーフパイプ女子日本代表。2019年、ユニバーシアードロシア大会女子メダル。2020年、全日本スキー選手権（SNOWBOARD）優勝。優勝選手賞受賞。得意競技は、クロントサルト。

Q1. 趣味は？
カメラです。高校時代に一眼レフを買って、最近は「写ルンです」でも撮っています。撮るのは風景が多いですね。

Q2. 好きな食べ物は？
フルーツ、焼肉、ラーメンです。遠征から日本に帰ってきたら、焼肉が食べたくくなりますね。ラーメンのなかでもみそラーメンが好きで、北海道遠征のときは本場の味が楽しめるのがうれしいです。食事制限はないのですが、バランスよく食べるようにしています。

Q3. 料理は作りますか？
海外遠征中は料理を作ることもあります。日本でも、たまに簡単なものを作ります。

Q4. 休日の過ごし方は？
ショッピングです。

Q5. ペットはいますか？
実家で犬3匹、猫5匹を飼っています。

Q6. リラックス法は？
深呼吸です。

Q7. 遠征の時に必ず持っていくものは？
お守りです。

Q8. 好きな映画は？
「ソウル・サーファー」です。



教えて！
今井胡桃選手